

第6回（仮称）箱根町住民自治基本条例策定委員会 会議録

平成19年4月12日（木）

15時00分～

分庁舎第5会議室

●挨拶

委員長

第6回（仮称）箱根町住民自治基本条例策定委員会を開催する。

本年度は、スケジュールがタイトな中で本格的に策定作業を進めていかなければならず、各委員の負担も大きいと思うがよろしくお願ひしたい。

企画観光
部長

※組織機構改革及び人事異動に伴う就任挨拶

●参考資料について

事務局

- ・策定委員会次第
- ・平成19年3月議会定例会町長施政方針
- ・条例振分表・条例項目比較表・条文比較表

●平成19年度の取り組み計画について

事務局

予定項目

- 1 委員会
- 2 庁内会議
- 3 アンケート（調査票案作成・発送・回収・集計・分析等）
- 4 中間フォーラム
- 5 職員研修
- 6 まちづくり懇談会等
- 7 パブリックコメント
- 8 町長報告
- 9 議会提案

〈スケジュール案〉

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
委員会	●	●	●	●		●	●	●	◎			
アンケート				●	●	●						
フォーラム						●	●					
町長報告									◎			
議会提案												◎

委員長

フォーラムの開催について、詳細は決まっていな
いというものの、フォーラムに係る委員の活動はど
うなるのか。

事務局

フォーラムと言っても、いろいろな開催の仕方が
ある。希望としては、策定委員の思いや、いろい
ろな立場からの委員の視点などを発表するような
ものが良いかと思っはいるが、具体的な方法つ
いては、策定委員会で協議のうえ、決めていき
たい。

住民参加の形をフォーラムで示せるようなもの
、例えば、パネルディスカッションなどもいいか
もしれない。

委員長

フォーラム開催などについて、各自の意見を述
べていただきたい。

委員

住民の方にフォーラムを聞きに来てもらうのは
大変だと思う。まちづくり懇談会の結果を見た
が、全町で40人というのは、ちょっと・・・そ
の点については、事務局の力も必要だと思う。

委員長

一般の人は自治基本条例に対して関心を持って
いるのか。実際にこの会にしても傍聴は1人しか
いないし、フォーラムに参加者が見込めないとし
ても普通の広報の仕方でもいいのか。問題は内
容なのかもしれない。

皆さんに知ってもらうためには一般への周知が
必要で、その方法についてもっと考えなくては
いけないのではないか。

事務局	<p>何にしても、多くの方に参加をしていただくには、住民の方への直接の影響が見えないと難しい。</p>
委員長	<p>この委員会にしても、もっと一般の人の意見があってもいいのではないか。理想だけど、周知の仕方が他にもあればいいと思う。</p>
事務局	<p>平成18年度の活動は、共通認識を持つことが大きな課題でもあったし、意見といっても難しかったと思う。</p> <p>今年度は、骨格も決まり、それに基づいてアンケートやパブリックコメントをやり、住民の意見を取り入れていけると思う。</p>
委員長	<p>自治基本条例が他市町でも同じ時に一括でやっていけば、話は違ったと思う。やっているところも、やっていないところもあり、箱根町より大きな都市の人でも知らない人がいる。</p> <p>いろいろな人に知ってもらうことが必要だと思うが、フォーラムをやっても人が集まらないのではないか。</p> <p>自治基本条例とは何なのかといった、情報の提供量が足りないと思う。もっと広報の方法を考えるべきだと思う。</p>
委員	<p>最高位の条例だから細かいことは言えないし、皆さんに意見をとってても難しい。具体的なことには一人ひとりの意見も言えるが、まとめたものには意見を言うのも難しいのではないか。住民にとって本当に必要なかという議論がないと、自分の頭の中でも非常にまとまりにくい。</p>
委員	<p>他の委員会などでは、行政主体のものに乗ってあげればいいので決まりやすいが、これに関しては大変でもたくさん意見を聞いて進めていくべきだと思う。</p> <p>住民に対し知らせるためにも委員会でもっと話し合うべきだし、フォーラムにも参加してもらうべき。</p>

- 委員 最終的にできあがれば素晴らしいものができるとは思っている。何のために、誰のためにといった目的をはっきりさせて噛み砕いて話すべきだと思う。
- フォーラムについても具体的に見出しをつけて知らせるべきだし、参加への呼びかけもすべき。
- フォーラムを形式的に進めてはいけないと思うので、でき上がるものが抽象的な表現だとしても、1つひとつは慎重にやるべきだと思う。
- 委員 この委員会では、条例の細部まででなく、導入部分を決めるのが仕事ではないのか。
- フォーラムについては、来てくれるメンバーはいつもと同じだと思う。フォーラム開催前にできたものを一般の人に公開すべき。
- 委員 アンケート結果が8月くらいに出るが、フォーラムではアンケートの結果発表を含めていき、そこでさらにまた意見をもらうのがいいと思う。
- 箱根町は、地域差があると思う。もっと具体的に、地域毎まで行わないと意見はもらえないと思う。動員とまでは行かなくても、いろいろな団体で声掛けが必要。抽象的な内容だからこそ、声をかけて参加してもらうことが大切だと思う。
- 委員 他市のものを見ても、「町民はまちづくりに参加する権利を有します」というようになっているが、そういわれても分かりにくい。アンケート以前に懇談会等で説明すべき。住民の目を向けさせることが必要だと思う。
- 委員 アンケートもフォーラムも絶対に必要。企業的な発想だが、ターゲットを明確にしてアンケート実施、フォーラム開催という段階を踏むべきだと思う。関心のある人、スピーカーの大きな人から攻めるのが効果的だと思う。
- 委員 前回までで、かなり分かってきたつもりだったが、今日また元に戻ってしまったような気がする。例えば住民投票でも、「尊重します」とか「定めます」の

ような曖昧な表現では、アンケートも返ってこないような気がする。フォーラムについてももしっかり考えないと参加者はいないかもしれない。とはいえ、他に代替案も思い浮かばないが…。

委員長

普段から町民が参加する習慣がなく、会議などを行うといつも同じような顔ぶればかり。関心がない住民が多すぎる。誰を対象にアンケートやフォーラムをやるべきかわからない。開催内容のレベルの問題と時期の問題もあると思う。

また、自分がパネラーになっても、住民の質問に答えられる自信もない。

委員

アンケート案の中には、この条例は約束事だという説明がある。実際には抽象的だし、細部まで決めたら最高条例にならない。曖昧なのか、きちんとした約束事かがよく分からない。

促進役

例えば寒川町だが、町側の内容には「〇〇でなくてはならない」と言った硬い表現が、住民側の内容には「〇〇に努めます」「〇〇する権利があります」と言ったやわらかい表現が使われている。このこと自体も議論で決めていると思う。

先ほども、オピニオンリーダーの話があったが、確かに関心のない人を取り込むのは大変なことである。しかし、スピーカーの大きな人に始まり、根気良く続けることで、いつかはそういった人たちにも情報は届く。

アンケートの実施やフォーラムの開催には大きく2つ、①住民の皆さんに知ってもらうこと、②住民の皆さんの意見をもらうこと、という目的がある。

また、先程の複数委員会の委員をかけた件は、それはいけないという意見があれば、条例にどのように盛り込むか、また盛り込むべきかを検討することも必要だと思う。

開催に当たっては、皆さんのおっしゃる通り、ポイントを絞ることは必要である。

- 委員 語尾に関しては市町村毎オリジナルで決められることはわかった。しかし、内容についてはそんなことは当たり前のことだと言われたら返す言葉がない。（例：町長の責務等）。
- 委員 当たり前のことだとしても、今までになかったのだから、明記する必要があると思う。
- 委員長 結局フォーラムを1回だけ、形だけやるというのでは駄目だと言うことになる。箱根町の場合、もしかしたら5回行う必要があるかもしれない。
- 事務局 住民、職員とキャッチボールをまめに行い、絵に描いた餅にならない、実現可能な条例の作成が大切だと思う。
- 委員 ところで、スケジュールにあるパブリックコメントとは？
- 事務局 計画など内容を案の段階で公表して、意見をいただくということ。
- 委員 スケジュールを見ると、町長報告・議会提案から施行予定までに時間があるように思えるが、それはどうしてか？
- 事務局 議会での継続審査、他条例の整備、町民への周知などにかかる時間である。
- 委員長 フォーラムの細かいことについては、また話し合うこととしよう。
宿題：アンケートとフォーラムについての意見提案。
- 促進役
- ・ 条例骨子についての説明
 - ・ 前回までのおさらい
 - ・ 寒川町の条例についての説明
- 委員 国際交流は必要だと思う。国際観光地であるし、またそれとして堂々と評価を得られるように。

- 促進役 次回からは項目にそって具体的に話し合っていきたい。
・アンケート案についての説明
- 委員 札幌市のアンケートは記入が大変そう。地域で説明してその場で書いてもらうということなら、岸和田市くらいがいいのでは。
- 委員 笹山市のアンケートが分かりやすくて答えやすい。説明文も多すぎない方がいい。
- 委員 いつも町づくりとかでやっているのは、回収率どれくらいか。
- 事務局 30～40%である。調査方法としては、20～60代くらいまでで抽出して郵送調査、または、まちづくり懇談会時にアンケートを行うなどが考えられる。
- 委員長 全て選択をする形式の問だけか。
- 事務局 自由記述のみだと、回収率がかなり下がるので、基本は選択形式で、自由記述に関しては、1問くらいがいいかなと思っている。あまりひねりすぎて回収率が下がるより、シンプルなアンケートで多くの方からご意見をいただける方がいいと思う。
- 委員 何問くらいが集中して回答できるものなのか。1つの問については選択肢はいくつくらいまでが望ましいのか。
- 促進役 選択肢1つひとつの長さも関係してくる。また問6のように回答数を限定するのも回答者には手間がかかる。ボリュームに関しては8～12ページの調査票が一般的には多く、ボリュームは少ない方が回収率は上がる。笹山市のものは、紙にすると4ページくらいではないだろうか。
ここで、宿題の追加として、アンケート内容も皆さんに考えていただきたい。

委員

本日も予定時間をオーバーして熱のこもった議論
ができたと思う。これで、第4回の策定委員会を閉
会する。